

H29「OB等リレー講座」(全学年対象)

6月5日(火)の5・6校時に、平成29年度第1回「OB等リレー講座」(全学年対象)が行われました。講師には本校OGの浜より子さん(昭和38年度卒、歌手)を迎え、「浜より子、51年目の歌人生」という演題でご講演いただきました。登場は黒の訪問着で、とても華やかな雰囲気でした。



まずはじめに『浪曲夫婦節』を力強く聴かせて下さり、ご主人が歌を歌うことを許して下さいって51年という長きにわたって歌い続けてこられたが、そのご主人が亡くなり、自分自身も病気と向き合いながら家族に支えられた過ごしてきたこと、東鳴子温泉の思い出などをお話ししてくださいました。

『カーンおじさんの歌』では、生徒達から手拍子も飛び出し、とても盛り上がりました。続けて



『美空ひばりメドレー』（俵屋さん、花笠道中、佐渡情話、マドロス酒場）などを聴かせて下さいました。内弟子になってからは、頼れる人がいない状況になり、尺八の遠藤先生（栗駒市）の娘さんを頼って、なんとか続けてきた。今は嫌だと思っても、いずれ役に立つ日が来るので、なんでもやっておいた方がいいというお話が身にしみました。

引き続き『さんさしぐれ』、『ああ青葉城』、『鳴子小唄』、『母恋い吹雪』、『外山節』、『相馬盆唄』などを、それぞれの曲紹介と共に迫力ある歌声で聴かせて下さいました。

第二部では、浅黄色の訪問着に着替え、明るい雰囲気ですまどきのソーラン節を歌い上げ、それに合わせて、ダンス部、生徒会合同の渾身のヨサコイが披露されました。とても迫力あるステージとなりました。ソーラン節は、先生によって節が違うということもはじめて知りました。

続けて『宝孫』、『人生花』、『能登の港歌』、『ああ上野駅』、『宮城長持唄』、長編の『岸壁の母』、『大漁節』などを朗々と歌い上げて下さり、ステージは大いに盛り上がりました。



〈ダンス部・サッカー部による“よさこいソーラン”〉

全体を通して、とても明るく闊達なステージで、「最後まで自分のやりたいことを貫いてほしい」という願いに満ちたステージでした。浜より子さん、本当にありがとうございました。

質問コーナーでは、「上京した時に一番大変だったのは何ですか」という質問がなされました。これに対しては「車で鼻から首まで真っ黒になった」という思い出話から入り、「天ぷら屋でいじめられたこと、好きなことなら前進するのみで決して辞めようとは思わない」と明快な答えがなされました。



〈高橋生徒会長による「御礼の言葉」〉